

歯科／小児歯科 歯学博士 院長／村井 為敦

ハート歯科クリニック

銀歯にさよなら リーズナブルな料金で白く美しい歯へ



CAD/CAMシステム導入 短時間で`冠、を作成します



CAD/CAMシステムで冠を製作

ハイブリッドレジン・セラミック製だから

- 天然の色合いに近いから口元の外観がナチュラルに
- 院内ですべての作業が完了 大幅スピードアップ
- リーズナブルな費用。自己負担額が約4割減（当院比）
- 金属の溶解によるアレルギーや歯茎の黒ずみの心配なし



チームワークで歯科医療を展開（後列中央が村井院長）



夜間診療

平日8:30まで
土曜6:00まで

診療
時間

月～金曜日10:00～20:30 昼休み13:00～14:30

土曜日10:00～18:00 休診 日曜・祝日

時間は変更することがあります。
事前に電話でご確認ください。

旭川市秋月2条1丁目9-8 ☎0166-47-8104

ハートシカ



0120-47-8104

ハート歯科 旭川

検索

<http://www.heart-dc-1995.com/>

ハート歯科クリニック

旭川市秋月2条1丁目 ☎0120-47-8104

診療時間 月～金曜日10:00～20:30 土曜日10:00～18:00 昼休み13:00～14:30 休診 日曜・祝日

高速回転するドリルで
ハイブリッドレジン
のブロックを加工



虫歯などのために歯の一部が欠けた場合、本来の歯の機能回復を目的に、

ハート歯科クリニック（村井為敦院長）がこのほど最新技術「CAD／CAMシステム」を導入した。健康保険の適用を受けつつ、美観に配慮した治療を従来より大幅に安く受けられるのが特徴。費用面の心配からこれまで治療を受けるのを迷っていた人には朗報だ。

銀歯にさよなら ハート歯科クリニックの「CAD／CAM冠」

リーズナブルな料金で白く美しい歯へ

もともとの歯にかぶせるのが「クラウン（冠）」。
かつては歯科医院で歯型をとってもらい、それに合わせて歯科技工士が精密なクラウンを作成。数日後に患者が再び歯科医院を訪れ、微調整を行なったクラウンを歯にかぶせてもらっていた。また、以前ならクラウンは金属製、いわゆる「銀歯」が主流だった。
こうした歯科医療の現場に、昨年「CAD／CAM冠」という時代の波が押し寄せている。歯を削ったあと、CAD／CAM（コンピュータによる設計・製造）技術を活用して精密な3次元データを作成、このデータに基づき短時間のうちにハイブリッドレジンという素材のブロックから、



チームワークで先進医療を展開。後列中央が村井院長

精密なクラウンを削り出すしくみだ。
「CAD／CAMシステムの最大の特徵は、外注に出さずに当院内ですべての作業が完了するということです。そのため歯を削ったその日のうちにクラウンを作り、装着することも可能です。数日間が必要だった従来の手法よりも大幅にスピードアップし、同時にコス

トダウンも実現しました」（村井院長）

CAD／CAMシステムは1980年代から欧州で開発が始まったが、長年、加工精度の向上が課題とされていた。近年、コンピュータや切削機器の進歩で従来の手法と比較して遜色がないレベルに精度が向上し、先進医療に取り組む世界各国の歯科医院が続々と導入している。旭川ではハート歯科クリニックが昨年12月に導入、早速威力を発揮している。

昨年4月1日からは、小白歯を対象にハイブリッドレジン製のCAD／CAM冠に健康保険が適用されている。国による利用の後押しが、CAD／CAM冠の精度や安全性を裏付ける。

従来から銀歯には保険が適用されていたが、見た目の違和感から敬遠する人も多く、金属成分が

溶け出して歯茎が黒くなったり、金属アレルギーをひき起こすなどのリスクがあった。一方、ハイブリッドレジンなら天然歯の色合いに近く、口元の見た目がナチュラルになる。強度も高く、金属アレルギーの心配もない。

欧米各国では金属性のクラウンがほとんど使われなくなっており、先進国のなかで「銀歯」が残っているのは日本だけとも言われる。低コストながら審美性にも優れたCAD／CAM冠の登場で、国内でも状況が一変する可能性が出てきた。

ハート歯科ではこのほか、審美性や生体親和性、耐久性などの面でハイブリッドレジン製より一段と優れたセラミック製のクラウンを使った治療（保険適用外）も行っている。CAD／CAM冠についての問い合わせはハート歯科クリニックまで。